

## 編集後記

今号の特集は台湾特集とした。これは、最終的にはこの特集に原稿を出せなかった私のアイデアで、それは、IASL の年次大会があって台北を訪れた際、大学院時代の同級生だった顔淑娟さんに再会することができ、その際、台湾大学附属図書館を見学させてもらい、彼女の仕事を聞かせてもらって、大変興味をもち、原稿をお願いしたことがはじまりである。また、その旅でお目にかかった、台北市立図書館長の曾淑賢先生が、私の印象では、日本の多くの公共図書館長よりも権限をもち、ご自身のアイデアをどんどん実現して、台北市立図書館の発展をリードしておられるご様子だったため、ぜひ曾先生にも原稿を頂戴したいと思い、顔さんにご尽力いただいて、それを実現した。『図書館情報学』に論文として掲載すべきと思われる内容の原稿をたまわり、恐縮するとともに、本当に嬉しく思った。そして、以前から台湾の図書館事情に精通しておられる宇治郷先生からも、原稿を頂戴することができた。写真も多く提供していただき、台湾の図書館の現状について、とても理解のすすむ論考であろう。お三方ともに、大変お忙しい中、本誌に原稿をお寄せくださって、心から感謝している。

別冊『同志社図書館情報学』には、2名の方の玉稿を収載することができた。お忙しい中で、原稿をお寄せくださった中村保彦さん、天野由貴さんに、感謝申し上げます。皆さまからも、本誌へのご寄稿をお待ちしております。

(文責・中村百合子)